

令和8年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1) 日時 令和8年6月3日(水) 15時01分～17時07分

(2) 場所 東京都千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア 地下1階「R005」会議室

(3) 方法 対面及びweb会議システム「Zoom」によるハイブリッド開催

<https://us06web.zoom.us/j/83654900616?pwd=0JMPqsBkEKxkryHfoCibXgkSbPcxSu.1>

ミーティング ID: 836 5490 0616

パスコード: 785826(今回1度きりのパスワードです)

2. 理事数及び出欠理事数

(1) 理事数 9人

(2) 出席理事 8人

(3) 欠席理事 1人

3. 出欠理事の氏名

出席者:

Zoom より: 山崎直子、虎野吉彦、高田正隆、中沢孝、室山哲也(1号議案決議前に退室)

会議室より: 遠藤守、麻生茂、上垣内茂樹

欠席者: 藤島豊久

4. 出席監事の氏名

出席者:

Zoom より: 富田実

会議室より: 棚橋秀行

5. 事務局の氏名

稲田伊彦、小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 前回議事録の確認

令和7年度第2回理事会議事録

7. 審議事項

第1号議案 令和7年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

第2号議案 連携団体規程の改定(案)について

第3号議案 日本宇宙少年団分団規約見本(案)について

第4号議案 移行認定時に認定を受けた事業の一部廃止について

8. 報告事項

(1) 理事長及び専務理事の業務執行状況について

(2) 団員推移について

(3) 定款の改定について

9. 議事の経過及びその結果

(1) 理事会開会宣言

定款第33条に基づき、山崎理事長が議長となり理事会を宣し、本理事会の進行については遠藤専務理事があたり、本日の開催方法は、zoom参加と会議室の参加で行うこと、さらに、zoom参加者については、終始、双方向の音声及び映像により相互に意思疎通が可能な状態であることを確

認した。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、有効に成立していることを報告した。

続いて、審議に入る前に事務局 安田より、本日理事会資料の確認を行った。

(3) 令和7年度第2回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和7年度第2回理事会議事録の内容確認が行われ、特段の意見・異議がなかったことから、確認済とされた。

(4) 審議事項

第1号議案 令和7年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について

事務局小定より、資料No.1 令和7年度事業報告書（案）について説明を行った。

続いて、事務局安田より、同じく資料No.1 令和7年度収支決算書（案）について説明を行った。

次に、棚橋監事より、監事監査について報告があった。

遠藤専務理事より、第1号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

山崎理事長より、監事報告で指摘された事務局職員の処遇改善、業務効率化・DX推進については継続的な課題として引き続き取り組んでいくべきと思う。また、フェロー制度について、現行のOB・OGに限定した対象範囲を見直し、宇宙教育活動を支援したい一般の方々にも対象を広げることを検討してはどうかとの提案があった。さらに、設立40周年事業について、積立資産の活用を含めた現時点での計画や事業内容について質問があった。

これに対し、事務局安田より、設立40周年記念事業としてスペースキャンプや講演会等の特別プログラムを計画しており、積立資産を活用する予定であること、また団員向けの40周年記念グッズの配布なども検討しているが、現時点では具体的な内容は未定である旨、説明があった。

山崎理事長より、設立40周年の節目に在籍する団員に対し、記念グッズ等の形や他の案も含めて思い出に残る取組を実施できればよいとの意見があった。また、設立記念日に近い団長会議の機会を活用し、日頃活動を支えている団長やリーダーとの交流を深めることも検討してはどうかとの提案があり、引き続き協議していくこととなった。

高田理事より、YACフェロー制度の対象範囲や会員拡大策について提案があった。特に、宇宙に関心を持つ中高生や地域の教育機関との連携を強化し、新たな参加者層を取り込む方策の検討を求めるとともに、外部助成金（一般財団法人三菱みらい育成財団）の活用による新規事業の可能性について意見が述べられた。これに対し、事務局小定より、フェロー制度の位置付け及び現行の団員制度について説明があり、遠藤専務理事から助成金制度について事務局に調査を依頼する旨、発言があった。

遠藤専務理事より、基本財産の運用について、定期預金の利息が高くなっていることを踏まえて国債による運用の可能性について確認・検討してはどうかとの意見があった。また、公益財団法人としての運用上の制約等について事務局に後日確認して欲しい旨、発言があった。

山崎理事長より、第1号議案について諮ったところ、出席理事7名全員一致で了承された。

第2号議案 連携団体規程の改定（案）について

第3号議案 日本宇宙少年団分団規約見本（案）について

資料No.2 連携団体規程の改定（案）について、及び資料No.3 日本宇宙少年団分団規約見本（案）について事務局より説明を行った。

審議の結果、本理事会においては結論に至らず、決議を見送ることとした。今後、連携団体規程全体の見直しを行った上で、日本宇宙少年団分団規約見本あるいはガイドラインとして整理し、改めて理事会に諮ることとなった。

第4号議案 移行認定時に認定を受けた事業の一部廃止について

事務局安田より、資料No.4 移行認定時に認定を受けた事業の一部廃止について、対象事業は「ワークショップ・キャラバン」及び「宇宙ふれあいキャンプ」の2事業であり、今後実施の見込みがないことから廃止する旨説明があった。また、新たな公益目的事業を実施する場合には、あらかじめ変更認定申請等の手続が必要であることについて併せて説明があった。

山崎理事長より、第4号議案について諮ったところ、出席理事7名全員一致で了承された。

(5)報告事項

①理事長及び専務理事の業務執行状況について

理事長の業務執行状況について

山崎理事長より、資料No.5に基づき、理事長の業務執行状況について報告があった。

専務理事の業務執行状況について

遠藤専務理事より、専務理事の業務執行状況については、特段報告することがない旨、発言があった。

②団員推移について

事務局小定より、資料No.6に基づき、2022年から2026年5月末現在までの団員推移について説明があった。新規団員数は前年を上回り、科学館等でのポスター掲示が入団促進に一定の効果を上げているとの報告があった。一方で、継続団員数はやや減少している状況が報告された。

③定款の改定について

事務局安田より、公益財団法人日本宇宙少年団定款第19条（決議）第3項に記載の引用条文に誤りがあることから、当該箇所を修正し、定時評議員会に定款変更案を付議する予定である旨報告があった。

(6)その他

①理事の推薦について

藤島理事が6月開催の定時評議員会終結の時をもって任期満了となることについて、前回理事会において報告済みである旨を確認した。

また、定款第22条（役員の設置）において理事は10名以内と定められており、現状2席の欠員が生じていることから、藤島理事の後任を含む理事候補者について協議を行った。

協議の結果、藤島理事の後任として活動委員より1名を推薦することとし、当該候補者を6月開催の定時評議員会に付議する理事選任議案の候補者とするについて、出席理事7名全員一致で承認された。

②次回理事会開催日程について

事務局安田より、定時評議員会は6月24日あるいは書面決議の方法により開催し、終了後に臨時理事会を開催し、理事長および専務理事の互選を行う予定である旨、説明をおこなった。

山崎理事長より、本日の理事会の閉会を告げ、17時07分に終了した。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに出席した監事は記名押印する。

以 上

令和 8年 6月 3日(水)

(議長)

理 事 長 山崎 直子 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)

監 事 富田 実 (押印済)